

学校を飛び出して、
地元で活躍するオトナを取材しよう！

挑戦と失敗を 栄養に

有限会社ハルヤマ
代表取締役 春山健司さん



池田町で鉄工業を営んでいる有限会社ハルヤマの代表取締役・春山健司さんにお仕事やリラックスメソッドについて伺いました。

Q…工場で作った製品はどんなところで使われていますか？

瓶を作る工場やごみ処理場、林業の作業所など、企業で使われるパーツがほとんどですね。家庭用のものはありません。企業によって欲しいものが全然違って、大きいものから小さいものまでいろいろなので、設計する人とタッグを組んで、協力して作っています。



Q…仕事を始めたきっかけは何ですか？

父親に呼ばれたことがきっかけなんですけど、実は、学生時代は鉄工所を継ぐつもりはなかったんですよ。

左官屋さんになりたくて、東海工業専門学校の建築工学科に行ったんです。その学校で大きい建築現場の指示を出す現場監督のお仕事を学びました。そして「せっかく現場監督の仕事勉強したから、将来独立できるようにいろいろなことが学べるころへ行こう」と思って、岐阜の建築会社に就職しました。

そこを一番大事にしていますね。

Q…高校生へアドバイスをお願いします。

面白いことをやったらいいと思います。何が面白いと思うかは、自分次第ですけど。就職にしろ学校行くにしろ、面白いことや好きなことが大事。例えば、サッカー選手になりたい夢があるとする。すごく大変なお仕事だし、もしかしたらなれないかもしれないです。けど、サッカーに関わる仕事だったら出来るかもしれない。

将来の仕事を考えたとき、何か好きなものがあるだけでも就きたい仕事への選択肢はギュッと絞られます。そこへ行くまでに何が必要かということも考えてくる。だから、まず何が好きか、何を面白いと感じるかをとことん突き詰めればそれが仕事になるし、周りの人を救うことにもつながりますから。

私も最初はお仕事を好きではなかったけど、今は好きです。物を作って、売り上げがあつて、給料を払って。私たちが作った機械があることによって、いろいろな人が助かっています。地域を助けることにもつながっていると思います。

どの職業も同じだと思っています。まず、自分が何を好きか、何を面白いと感じるか突き詰めるのがいいと思います。先生に怒られながらも、面白いものをとことんやってみることも大事だと思います。

極端な話、興味を持ったことにチャレンジした結果、警察に捕まったとしたら、親や先生に謝罪をしたり、休学になったりするかもしれない。周囲に迷惑をかけてしまうかもしれないけれど、チャレンジしたことは人生のマイナスになるとは思いません。

どんなことも自分の経験、栄養になりますか

そして、当時付き合っていた女性との間に子供ができて、結婚することになったんです。

その時、父親に「お前の給料だけで暮らしているのか？ 今の二倍の給料をやるからうちで働いてくれ」と言われたので、後を継ぐと決めました。

Q…お仕事のやりがいを見せてください。

一つ目は経営者として、給料日に従業員への振り込みをすること。振り込みが終わるとほっとしますね。

二つ目は、複雑な展開図をもとに作ったものがピタッとくっつくこと。すごく気持ちいいです。

三つめは、自分たちの作った製品を工場などで見たとき。すごく気持ちがいいです。多分、他にももっとあります。

Q…日々のフレッシュはどうしていますか？

お酒を飲んだりキャンプをやったり、バイクに乗ったり、映画を見たり。色んなことをしていますね。中でもバイクは結構乗ってますよ。

Q…バイクはどれくらい続けていますか？

三年くらいですね。

例えばサイクリングが趣味だとしたら、値の張るものを買ったら毎日乗りたくなりますよね。それと似ていて、私の場合はバイクなんです。

二十年くらいずっと興味があつたバイクを奥さんに買ってもらえたというのもあって、すごく大切にしています。

ら。挑戦して、失敗していいと思います。失敗のないまま生きていくと、失敗を極度に恐れる人生になって、何もできなくなってしまう。

自分の行動の責任は自分にしかとれません。それも含めて、失敗に対しての免疫をつけておくべきだと思います。その経験は、一生の宝になるのではないでしようか。



【感想】

僕は最初、春山さんへのインタビューはお仕事のお話を中心になる心積もりで挑みました。そして当日インタビューが始まると、お仕事のお話は一つ一つ凄く丁寧にしていただけました。それだけではなくプライベートのこと、春山さん自身のモットーや高校生に向けたメッセージなどをユーモアも交えて熱く語っていただけました。嬉しかったことを覚えています。特に印象に残ったのは、春山さんの「面白いと思うこと、好きなことを突き詰める」という言葉で、将来の進路がいまいち定まっていな自分にもものすごく響きました。

Q…どのように趣味の時間を確保していますか？

私は働く時間を自由にずらせるんです。例えば、一般企業に勤めてる人が八時間働くとしたら八時から十七時まで、とか時間を決めるけど、私の場合は午前零時から朝の八時までは働いて、その後は趣味に時間を費やせます。

いろんなものを作るのも私の仕事ですが、皆が働けるように準備をしたり、仕事をとってきたりするのが一番の



仕事なんです。だから、うちの社員さんがそれなりにやることがあれば、私は会社にいないほうがいいんです。例えば自習の時間。先生が居ないと、はっちゃけたりするでしょう。会社でも社長がいない方が、のびのびできるんです。

こうやって働く時間を調整できるのは、自分で仕事をするメリットですね。

Q…春山さんのモットーを教えてください。

難しいですね。モットーかは分からないけど、私は周りの人がみんな幸せでいてほしいなって思っています。

例えば、自分がミスをしたとして、言い方を変えると、皆が笑ってくれるチャンスになります。